

操作条件

検出器：紫外吸光度計（測定波長：300 nm）

カラム：内径約 4 mm，長さ約 15 cm のステンレス管に 5 μ m の液体クロマトグラフ用シリカゲルを充てんする。

カラム温度：30 °C 付近の一定温度

移動相：ヘキサン/酢酸（100）/エタノール（99.5）混液（90：10：9）

流量：ダントロレンの保持時間が約 8 分になるように調整する。

カラムの選定：本品 5 mg 及びテオフィリン 0.1 g をテトラヒドロフラン 20 mL 及び酢酸（100）2 mL に溶かし，エタノール（99.5）を加えて 100 mL とする。この液 10 mL をとり，エタノール（99.5）を加えて 100 mL とする。この液 10 μ L につき，上記の条件で操作するとき，テオフィリン，ダントロレンの順に溶出し，その分離度が 6 以上のものを用いる。

検出感度：標準溶液 10 μ L から得たダントロレンのピーク高さがフルスケールの 10 ~ 40 % になるように調整する。

面積測定範囲：溶媒のピークの後からダントロレンの保持時間の約 2 倍の範囲

水分 14.5 ~ 17.0 % (0.2 g, 容量滴定法, 直接滴定)。

定量法 本品約 0.7 g を精密に量り，プロピレングリコール/アセトン混液（1：1）180 mL に溶かし，0.1 mol/L 過塩素酸で滴定する（電位差滴定法）。同様の方法で空試験を行い，補正する。

0.1 mol/L 過塩素酸 1 mL = 33.623 mg $C_{14}H_9N_4NaO_6$

貯法 容器 気密容器。

タンニン酸

Tannic Acid

本品は，通例，五倍子又は没食子から得たタンニンである。

性状 本品は黄白色～淡褐色の無晶形の粉末，光沢のある小葉片又は海綿状の塊で，においはないか，又はわずかに特異なおいがあり，味は極めて渋い。

本品は水又はエタノール（95）に極めて溶けやすく，ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

確認試験

（1）本品の水溶液（1 → 400）5 mL に塩化鉄（Ⅲ）試液 2 滴を加えるとき，液は青黒色を呈し，放置するとき，青黒色の沈殿を生じる。

（2）本品の水溶液（1 → 20）5 mL ずつにそれぞれアルブミン試液 1 滴，ゼラチン試液 1 滴又はデンプン試液 1 mL を加えるとき，それぞれ沈殿を生じる。

純度試験

（1）ゴム質，デキストリン又は糖類 本品 3.0 g を熱湯 15 mL に溶かすとき，液は混濁してもわずかである。この液を冷却してろ過し，ろ液 5 mL にエタノール（95）5 mL を加えるとき，液は混濁しない。更にジエチルエーテル 3

mL を追加するとき，混濁しない。

（2）樹脂状物質（1）のろ液 5 mL に水 10 mL を加えるとき，液は混濁しない。

乾燥減量 12.0 % 以下（1 g, 105 °C, 2 時間）。

強熱残分 1.0 % 以下（0.5 g）。

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

タンニン酸アルブミン

Albumin Tannate

タンナルビン

本品はタンニン酸とたん白質との化合物である。

本品はそのたん白質の基原を表示する。

性状 本品は淡褐色の粉末で，においはないか，又はわずかに特異なおいがある。

本品は水又はエタノール（95）にほとんど溶けない。

本品は水酸化ナトリウム試液を加えるとき，混濁して溶ける。

確認試験

（1）本品 0.1 g にエタノール（95）10 mL を加え，水浴中で振り混ぜながら 3 分間加熱する。冷後，ろ過し，ろ液 5 mL に塩化鉄（Ⅲ）試液 1 滴を加えるとき，液は青紫色～青黒色を呈し，放置するとき，青黒色の沈殿を生じる。

（2）本品 0.1 g に硝酸 5 mL を加えるとき，液はだいたい黄色を呈する。

純度試験

（1）酸 本品 1.0 g に水 50 mL を加え，5 分間振り混ぜてろ過し，ろ液 25 mL に 0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 1.0 mL 及びフェノールフタレイン試液 2 滴を加えるとき，液の色は赤色である。

（2）脂肪 本品 2.0 g に石油ベンジン 20 mL を加え，15 分間強く振り混ぜてろ過し，ろ液 10 mL を水浴上で蒸発するとき，残留物は 0.050 g 以下である。

乾燥減量 6.0 % 以下（1 g, 105 °C, 3 時間）。

強熱残分 1.0 % 以下（0.5 g）。

消化試験 本品 1.00 g に含糖ペプシン 0.25 g 及び水 100 mL を加えてよく振り混ぜた後，40 ± 1 °C の水浴中で 20 分間放置し，希塩酸 1.0 mL を加えて振り混ぜ，次に 40 ± 1 °C の水浴中に 3 時間放置した後，直ちに常温まで急冷し，ろ過する。残留物を水 10 mL ずつで 3 回洗い，デシケーター（シリカゲル）で 18 時間乾燥した後，105 °C で 5 時間乾燥するとき，その量は 0.50 ~ 0.58 g である。

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

タンニン酸ジフェンヒドラミン

Diphenhydramine Tannate

本品はジフェンヒドラミンとタンニン酸との化合物で，定量するとき，ジフェンヒドラミン（ $C_{17}H_{21}NO$ ：255.35）25.0